

第2期 災害廃棄物（漁網）の搬入結果について（箱根町）

岩手県洋野町から災害廃棄物（漁網）の第2期の搬入を11月12日（火）から15日（金）に実施しましたので、その結果についてお知らせします。

- 1 実施日時： 平成25年11月12日（火） 8:40~15:00
 平成25年11月13日（水） 8:30~14:30
 平成25年11月14日（木） 8:30~14:45
 平成25年11月15日（金） 8:40~14:10
- 2 場 所： 箱根町環境センター及び第2一般廃棄物最終処分場
- 3 搬入物： 岩手県洋野町で発生した災害廃棄物（漁網）
- 4 搬入量： 漁網の入ったフレコン（大型土のう袋） 30個（40.0t）
 ※なお、フレコンとは、フレキシブルコンテナバッグの略称です。

漁網の計量結果は、次のとおりです。

日付	フレコンNo	計量結果(t)	日別搬入量(t)	日付	フレコンNo	計量結果(t)	日別搬入量(t)
11月12日	H3-1	1.2	11.1	11月14日	H5-5	1.5	10.5
	H3-2	1.4			H5-6	1.4	
	H3-3	1.4			H6-1	1.0	
	H3-4	1.4			H6-2	1.5	
	H3-5	1.4			H6-3	1.0	
	H3-6	1.7			H6-4	1.0	
	H4-1	1.3			H6-5	1.4	
	H4-2	1.4			H6-6	1.7	
11月13日	H4-3	1.4	10.5	11月15日	H7-1	1.2	7.9
	H4-4	1.3			H7-2	1.3	
	H4-5	1.4			H7-3	1.5	
	H4-6	1.2			H7-4	1.4	
	H5-1	1.2			H7-5	1.3	
	H5-2	1.4			H7-6	1.2	
	H5-3	1.3		第2期の漁網受入量 合計		40.0	
	H5-4	1.1					

※小数第2位を四捨五入しているため計量結果と日別搬入量の計が一致しないことがあります。

- 5 作業内容: ① フレコンを積載した JR 貨物コンテナの空間線量率を測定
② コンテナを開封しフレコンを荷降ろし
③ フレコンの周囲の空間線量率を測定
④ フレコンを開封し、内容物の確認
⑤ フレコンを搬送用トラックに積載し、計量
⑥ 最終処分場に埋立

6 フレコンの大きさ等（1個の大きさ）

- ・寸法 横約1.6m×縦約1.9m×高さ約1.5m
- ・体積 約4.6m³

7 搬入の様子

JR貨物コンテナの周囲及びフレコンの周囲の空間線量率を測定した結果は、受入条件を大きく下回っていたため、フレコン内部の漁網の様子を確認しました。

その後、漁網に異物等がないことをチェックしたあと、当初の予定どおり、最終処分場に埋立処理しました。

別添の作業の様子（写真）をご覧ください。

8 搬入時の安全確認の結果

(1) 空間線量率

災害廃棄物（漁網）の受入条件にある空間線量率については、岩手県洋野町での測定のほか、箱根町でも測定を実施し、2重のチェック体制を行っています。

第2期搬入時の測定結果は次のとおりです。

単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$ （マイクロシーベルト・パー・アワー）

測定日	測定対象	測定結果（平均値）	受入条件
第2期搬入時 11月12日	JR 貨物コンテナ No 5	0.012	毎時 0.19 マイクロ シーベルト以下で あること (国の基準と同じ)
	フレコン (H3-1)	0.022	
	フレコン (H3-2)	0.022	
	JR 貨物コンテナ No 6	0.030	
	フレコン (H3-3)	0.030	
	フレコン (H3-4)	0.022	
	JR 貨物コンテナ No 7	0.042	
	フレコン (H3-5)	0.032	
	フレコン (H3-6)	0.024	
	JR 貨物コンテナ No 8	0.034	
	フレコン (H4-1)	0.020	
	フレコン (H4-2)	0.032	
第2期搬入時 11月13日	JR 貨物コンテナ No 9	0.042	毎時 0.19 マイクロ シーベルト以下で あること (国の基準と同じ)
	フレコン (H4-3)	0.050	
	フレコン (H4-4)	0.028	
	JR 貨物コンテナ No10	0.016	
	フレコン (H4-5)	0.024	
	フレコン (H4-6)	0.028	
	JR 貨物コンテナ No11	0.042	
	フレコン (H5-1)	0.028	
	フレコン (H5-2)	0.034	
	JR 貨物コンテナ No12	0.010	
	フレコン (H5-3)	0.010	
	フレコン (H5-4)	0.022	

単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$ （マイクロシーベルト・パー・アワー）

測定日	測定対象	測定結果（平均値）	受入条件
第2期搬入時 11月14日	JR 貨物コンテナ No13	0.036	毎時 0.19 マイクロ シーベルト以下で あること (国の基準と同じ)
	フレコン (H5-5)	0.040	
	フレコン (H5-6)	0.062	
	JR 貨物コンテナ No14	0.018	
	フレコン (H6-1)	0.010	
	フレコン (H6-2)	0.022	
	JR 貨物コンテナ No15	0.018	
	フレコン (H6-3)	0.024	
	フレコン (H6-4)	0.016	
	JR 貨物コンテナ No16	0.058	
	フレコン (H6-5)	0.030	
	フレコン (H6-6)	0.034	
第2期搬入時 11月15日	JR 貨物コンテナ No17	0.018	毎時 0.19 マイクロ シーベルト以下で あること (国の基準と同じ)
	フレコン (H7-1)	0.028	
	フレコン (H7-2)	0.036	
	JR 貨物コンテナ No18	0.032	
	フレコン (H7-3)	0.014	
	フレコン (H7-4)	0.022	
	JR 貨物コンテナ No19	0.028	
	フレコン (H7-5)	0.026	
	フレコン (H7-6)	0.034	

- ※ 空間線量率は、自然界の放射能物質を含めて測定され町環境センターでも $0.05 \mu\text{Sv}/\text{h}$ 程度あります。
- ※ なお、フレコンH1-1は、異物等を除去したあと小分けした小山（約 20 m^3 ）を識別するためにH1、H2・・・と順番に付したH1の小山から詰めた1個目の袋のことで

(2) 内容物の確認

第2期搬入では、自治会長と町職員がフレコンの中を覗き、漁網のみであることを確認しました。